

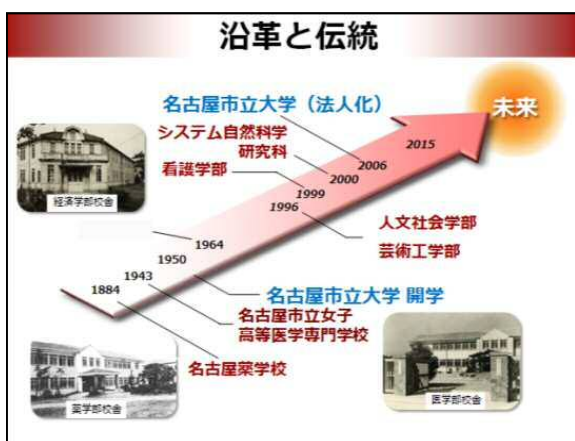


新入生そしてご家族の皆さん、これまでの人生の中で最も素晴らしい日を本日迎えられました。ご入学心よりお祝い申し上げます。



桜花爛漫 青空の下、本日ここに、ご来賓の河村たかし名古屋市長、小川としゆき市会副議長をはじめ、同窓会や後援会の方々のご臨席を賜り、教職員一同とともに入学式ができますことに、大学を代表して深く感謝申し上げます。

本日の式辞では、大きなスライドを用意しました。皆さんに名市大に親しみを持っていただく第一歩になればと思います。



先ず始めに、名市大の沿革をご紹介します。本学は、1884 年創立の名古屋薬学校と、1943 年創立の名古屋市立女子高等医学専門学校を源流とし、これら 2 校が統合して 1950 年に開学されました。その後経済学部、昨年 20 周年を迎えた人文社会学部と芸術工学部、そして看護学部とシステム自然科学研究科の 6 学部 7 研究科からなる総合大学に発展し、10 年前には法人化となり、未来に向かって進化しています。

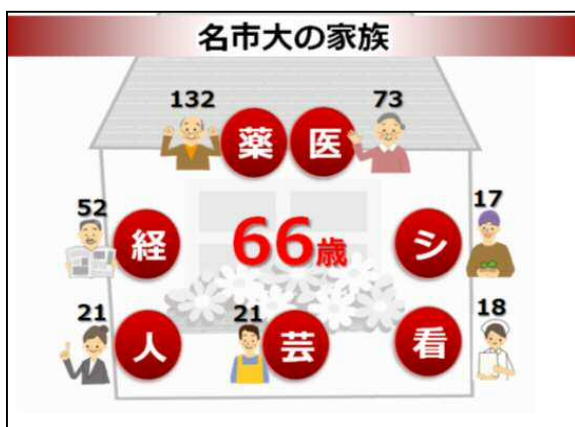


本学は、桜山、滝子、田辺通、北千種の4つのキャンパスからなります。離れたキャンパスの不便さはありませんが、本日は、オール名市大として皆さんを歓迎しています。



ところで皆さん、この数字は何だと思いますか？先程の名市大の沿革がヒントです。

答えは、名市大の各学部ができてからの年数で、大学としては開学66年にあたります。



名市大は、二人家族でスタートし、今では7人家族です。年齢や専門は異なりますが、家族が助け合って成長してゆかねばなりません。



そのような思いを込めて一昨年、開学記念日の10月28日に「大学憲章」を制定しました。大学憲章は、国の憲法に当たるもので、本学のすべての教職員と学生が心をつなげて同じ未来に進む指針です。



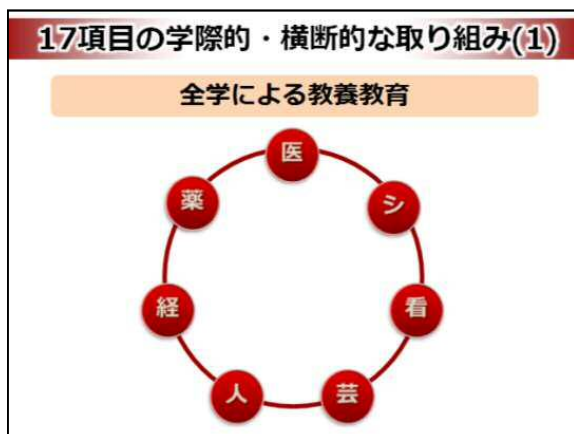
大学憲章の理念をもとに、15年後の未来を見据えた「名市大未来プラン」を策定しました。プランの一つに「15年後には世界をリードする大学をめざす」があります。それを受け、本日は外国人留学生代表からも入学生宣誓をしてもらう予定です。



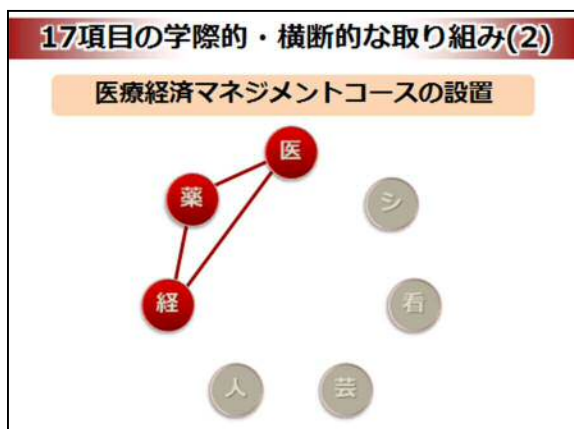
さらに、各学部・病院の未来プランを公表しました。



その特徴は、各学部の壁をこえた横断的・学際的なプランを17項目掲げていることです。本日は、その中から、新入生の皆さんに関わる4つをご紹介します。



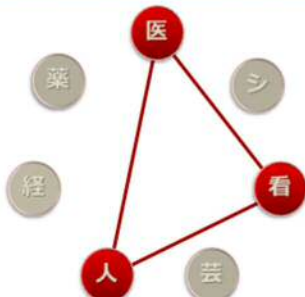
1つ目は、皆さんが入学して先ず学ぶ「教養教育」の大幅な改革です。全学のすべての教員が皆さんを教育する、全国でも稀なシステムです。



2つ目は、この4月からオープンする「医療経済マネジメントコース」です。経済学研究科が医学・薬学と連携して、医療経済の専門家を養成する、全国初の大学院です。本年は、8名の一期生を迎えました。

### 17項目の学際的・横断的な取り組み(3)

#### 医療心理センターの設立



3つ目は、来年オープン予定の「医療心理センター」です。人文社会学部が医学・看護学部と連携し、医療心理士を養成するもので、小中学校や医療界からの多様なニーズに応えてまいります。

### 17項目の学際的・横断的な取り組み(4)

#### 医療デザイン研究センターの設置



4つ目は、医学部と芸術工学部が共同して、医療機器のデザイン開発をする「医療デザイン研究センター」です。2年前に全国ではじめて設置され、産業界からも注目を浴びています。

この他にも、本学が力を入れているのは、就職などのキャリア支援センター、国際交流センターです。皆さんには、大いに活用していただきたいと思います。

### 開学65周年記念式典

開催日：平成27年10月31日（土）  
会場：田辺通キャンパス宮田専治記念ホール



7人の家族が結束する意味を込めて、昨年の開学記念日に、開学65周年記念式典を行いました。

**開学65周年記念式典**  
 開催日：平成27年10月31日（土）  
 会場：田辺通キャンパス宮田専治記念ホール



林修氏による  
記念講演会

記念講演は、あの林修先生でした。開学 65 周年記念は、単なる祝賀会だけではなく、地域と連携し、海外に展開する事業、さらには 70 周年、100 周年へとつながる事業など、約 40 の企画をしています。

**名市大管弦楽団 第60回定期演奏会**  
 開催日：平成27年12月27日（日）  
 会場：愛知県芸術劇場コンサートホール

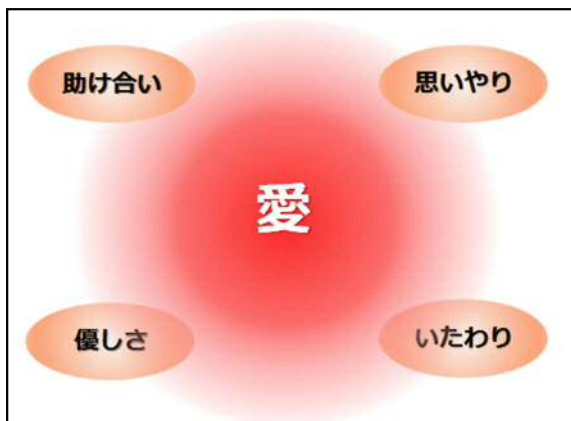


その 1 つは、昨年暮れ、愛知県芸術劇場で、本学の管弦楽団と、教職員、学生、一般市民と、ヨーロッパからお招きした 4 名のソリストとで奏でた「ベートーベン第九」の合唱です。美しくも力強い合唱は迫りに溢れ、1,700 名の観衆を感動の輪で魅了しました。この演奏は、you-tube にアップしていますので、是非聞いてください。

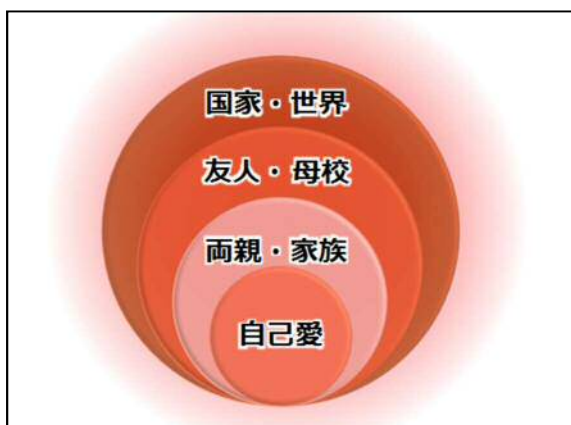
**記念映画「儂時計」上映会**  
 開催日：平成28年3月18日（金）開演 19:00  
 開場：ミッドランドスクエアシネマ



2 つ目は、芸術工学部の先生と学生が制作した映画です。タイトルは「儂時計」。開学当時の学生生活を描きながら、大きな夢を未来の学生、すなわち皆さんに托す物語です。先日上映会がありました。学内でも上映されますのでご覧ください。



これらの取り組みは、全学の教職員、学生、同窓会による助け合い、やさしさ、思いやり、いたわりから出来たもので、その根幹にあるのは「愛」です。



私は、愛の基本は自分への愛であり、それらが両親や家族への愛につながり、友人や母校への愛、さらには国家や世界へと、心のゆとりが大きくなると共に、「愛は広がる」のだと思います。

ここで皆さんに話したいことが2つあります。1つは、皆さんが今ここにあるのは、ご家族の「愛の結晶」であること、もう1つは、名市大への愛校心をいつまでも持ち続けていただきたいことです。

「未来を切り拓くのは愛であり、その原点は人への思いやりである」と話しました。

小説家の司馬遼太郎さんは、「21世紀に生きる君たちへ」と題して小学6年生の教科書に、「人への思いやり」を主旨にメッセージを書き遺されています。

「助け合いの原点は優しさ、思いやりで、それらは訓練により身につけるものである」



『二十一世紀に生きる君たちへ(併載:洪庵のたいまつ)』(司馬遼太郎/著 世界文化社 2001.2)より

原始時代の社会は、家族を中心にした小さなものだったが、それが地域となり、国家や世界という社会をつくり、お互いが助け合いながら生きている。それは、「人」という文字が、ななめの画で互いに支え合っているのと同じである。

助け合いの原点は、やさしさ、おもいやりだが、それらは本能で生まれるものではなく、「訓練により身につけるものである」と説いています。

このことは、先に述べた、「愛は、心のゆとりが大きくなると共に広がること」と同じだと思います。

### 司馬 遼太郎『洪庵のたいまつ』

「世のために 尽くした人の一生ほど  
美しいものはない」

『二十一世紀に生きる君たちへ(併載:洪庵のたいまつ)』(司馬遼太郎/著 世界文化社 2001.2)より

司馬さんは、「21世紀に生きる君たちへ」を執筆した同じ年に、「洪庵のたいまつ」という随筆を小学5年生の教科書に残されています。

司馬さんはその中で、「世のために 尽くした人の一生ほど、美しいものはない」、その人こそが緒方洪庵だと紹介しています。

洪庵は、江戸時代の鎖国のなかオランダ医学を学び、身分の差別なく教える「適塾」を自宅につくり、大村益次郎や福沢諭吉など近代社会を切り拓いた多くの逸材を育てました。





洪庵は、自分自身と弟子達への戒めとして、十二か条からなる訓かいを認めました。その第一条には、「人の為に生活して己の為に生活せざるを本體とす。安逸を思わず、名利を顧みず、唯己をすて、人を救わんことをこいねがうべし」とあります。スライドの額は、私が大学卒業時にいただいたもので、今でも大切にしています。



洪庵の偉大さは、オランダ医学で学んだ「たいまつ」を、よりいっそう大きくし、福沢諭吉などの弟子一人一人に移し続けたことです。弟子たちの火はやがて日本の近代を照らしたのです。

本日、新入生の皆さんは、洪庵のたいまつのように、社会を照らす人となり、未来を切り拓く人材になってください。それがご両親ならびに私たち教職員の心からの願いです。



最後に、私の好きな言葉「凌雲の志」を揮毫して、皆さんにお送りします。人は誰でも、大きな目標を成し遂げると満足し、努力を怠りがちになるものです。本日、憧れの名古屋市立大に入学され、ほっとされていることでしょうか、人生はこれからです。

本学は、輝かしい伝統のもと、世界に飛躍してまいります。皆さんは、母校に誇りと愛を持ち、世界に羽ばたく逸材になってください。教職員一同は、あなた方をわが子のように思い、時には厳しくも心温かく応援してまいります。

名古屋市立大へのご入学おめでとうございます。

平成28年4月5日

名古屋市立大学 学長

郡 健二郎